

日産自動車、2025 年度決算を発表

- 営業利益は着実に改善し、2025 年度通期は 580 億円の黒字
- 2025 年度下期の自動車事業のフリーキャッシュフローは 1,120 億円の黒字
- Re:Nissan は目標達成に向けて計画通り進捗

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:イヴァン エスピノーサ)は、2025 年度通期および第 4 四半期決算を発表しました。

2025 年度財務実績

2025 年度は、関税やインフレ圧力、不安定な市場動向などにより厳しい事業環境が続く中、当社は経営再建計画 Re:Nissan を着実に実行し、事業基盤の強化と業績の改善に取り組んできました。

2025 年度通期のグローバル販売台数は 315 万台となり、連結売上高は 12 兆円、連結営業利益は 580 億円となりました。売上高営業利益率は 0.5%となり、当期純利益は-5,331 億円となりました。

自動車事業のフリーキャッシュフローは、通期では-4,808 億円となりましたが、下期は業績の改善に伴い、1,120 億円の黒字となり、回復の兆しを示しています。

年度末で自動車事業のネットキャッシュは 1 兆 1,700 億円となりました。自動車事業の手元資金および現金同等物は 2 兆 2,000 億円で、販売金融会社に対する貸付金 1 兆 4,000 億円と合わせて 3 兆 6,000 億円の流動性を維持しており、継続する不透明な事業環境に対応できる十分な資金を確保しています。

(東京証券取引所届出) 中国合弁会社に持分法を適用 ^{注2}	2024 年度通期	2025 年度通期	増減 (対前年)
売上高	12 兆 6,332 億円	12 兆 79 億円	-6,253 億円
営業利益	698 億円	580 億円	-118 億円
売上高営業利益率 %	0.6%	0.5%	-0.1 ポイント
経常利益	2,102 億円	11 億円	-2,091 億円
当期純利益 ^{注1}	-6,709 億円	-5,331 億円	+1,378 億円

2025 年度通期の平均レートは、1USドル 151 円、及び 1 ユーロ 175 円を使用しています。

2025 年度第 4 四半期 3 か月財務実績

2025 年度第 4 四半期 3 か月は、連結売上高 3 兆 4,299 億円、連結営業利益 681 億円、売上高営業利益率 2.0%、当期純利益は^{注1}-2,829 億円となりました。

(東京証券取引所届出) 中国合弁会社に持分法を適用 ^{注2}	2024 年度 第 4 四半期 3 か月	2025 年度 第 4 四半期 3 か月	増減 (対前年)
売上高	3 兆 4,900 億円	3 兆 4,299 億円	-601 億円

営業利益	58 億円	681 億円	623 億円
当期純利益 ^{注1}	-6,760 億円	-2,829 億円	3,932 億円

2025 年度第 4 四半期 3 か月の平均レートは、1USドル 157 円、及び 1 ユーロ 184 円を使用しています。

2026 年度の業績見通しについて

2026 年度も引き続き、競争の激化や為替変動、インフレ圧力、地政学的な不確実性などから、厳しいビジネス環境が続くと想定していますが、当社は Re:Nissan の取り組みを着実に推進し、目標に掲げた 2026 年度末での自動車事業の営業利益とフリーキャッシュフローの黒字化(関税影響を除く)を達成していきます。

2026 年度通期予想は、下記の通り、東京証券取引所に届け出ました。

東京証券取引所届出値

2026 年度連結決算予想	
売上高	13 兆円
営業利益	2,000 億円
当期純利益 ^{注1}	200 億円

なお、上記の業績見通しを考慮し、2026 年度は配当を行わない方針です。

Re:Nissan の進捗状況

Re:Nissan では、コスト構造の改善、市場・商品戦略の再定義、パートナーシップの強化を優先事項として掲げており、2025 年度は主要な取り組みを着実に実行しました。

- ・2026 年度に 5,000 億円を削減する (2024 年度実績比) のコスト改善の目標に向けて、着実に進捗しています。2025 年度には固定費で 2,000 億円、変動費は 550 億円を削減しました。
- ・生産能力の削減に向けて、グローバルの生産拠点を 17 から 10 に統合、削減していきますが、2025 年度に 7 つの生産拠点について計画を発表しました。今後、各拠点の計画に基づき、生産移管等のプロセスを着実に実行していきます。
- ・開発においては、時間あたりの平均労務費を 20%削減していきますが、2025 年度はプロジェクトのスケジュールに影響を与えることなく、18%削減しました。
- ・一般管理費の削減は計画通りに進捗しています。
- ・米国では小売販売と収益性を重視した事業運営を進めています。日本では、重点モデルの投入を通じて販売を強化しています。中国では、新エネルギー車 (NEV) を中心とした明確な戦略を進めています。
- ・在庫を適切に管理し、販売チャネルを見直すとともに、マーケティングの精度を高めることで、高い価値を提供し、より安定した成果を出す体制を整えています。

Re:Nissan の最終年度となる 2026 年度は、こうした基盤の構築から、より強固な事業の実現へと移行していきます。

CEO のイヴァン エスピノーサは、「2025 年度は、Re:Nissan の取り組みを着実に実行し、事業基盤の強化に努めてきました。その成果が業績にも反映され始めています。そして『モビリティの知能化で、毎日を新たな体験に』という長期ビジョンを発表し、日産は再建に集中する段階から成長に向かう段階へと進みました。2026 年度は、コスト規律を徹底しながら、新型車の投入と拡販、収益性の向上に取り組み、Re:Nissan で掲げた目標を達成していきます。そして、長期ビジョンの実現に向け、お客さまに新たな体験価値を提供していきます」と述べました。

注 1) 親会社株主に帰属する当期純利益

注 2) 2013 年度から中国の合併会社 東風汽車有限公司の連結方法が変わり、持分法が適用されています。本会計基準では、連結当期純利益に変化はないものの、連結売上高と連結営業利益には東風汽車の数値は含まれなくなります。

*業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。実際の業績が現状の業績見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

当社決算の詳細については、以下より資料をダウンロードいただけます。

www.nissan-global.com/JP/IR/FINANCIAL/

以上

	当通期実績 26年3月期	前通期実績 25年3月期	来期予想 27年3月期
売上高 (注1)	120,079億円 (▲4.9%)	126,332億円 (▲0.4%)	130,000億円
日本	43,227億円 (▲11.0%)	48,581億円 (▲1.8%)	
北米	69,583億円 (▲2.9%)	71,669億円 (▲1.5%)	
欧州	17,176億円 (▲4.0%)	17,886億円 (▲4.4%)	
アジア	13,032億円 (▲20.9%)	16,475億円 (+2.5%)	
その他地域	15,568億円 (+0.8%)	15,447億円 (+2.0%)	
小計	158,587億円 (▲6.7%)	170,057億円 (▲1.2%)	
消去	▲ 38,508億円 -	▲ 43,725億円 -	
営業利益 (注1)	580億円 (▲16.9%)	698億円 (▲87.7%)	2,000億円
日本	54億円 (▲96.0%)	1,337億円 (+23.7%)	
北米	687億円 (-)	▲ 383億円 (-)	
欧州	▲ 541億円 (-)	▲ 988億円 (-)	
アジア	313億円 (▲45.3%)	573億円 (▲47.6%)	
その他地域	▲ 52億円 (-)	25億円 (▲91.0%)	
小計	459億円 (▲18.5%)	564億円 (▲90.0%)	
消去	121億円 (▲10.3%)	134億円 -	
経常利益	11億円 (▲99.5%)	2,102億円 (▲70.1%)	
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 5,331億円 -	▲ 6,709億円 -	200億円
1株当たり当期純利益	-152.58円	-187.08円	5.72円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	-	
為替レート			
ドル/円	151円	153円	150円
ユーロ/円	175円	164円	175円
設備投資 (注2)	4,992億円	5,773億円	4,800億円
減価償却費 (注2)	2,614億円	3,636億円	2,500億円
研究開発費	5,625億円	6,190億円	5,500億円
総資産	198,124億円	190,241億円	
純資産	52,417億円	54,453億円	
自己資本比率	24.2%	26.1%	
業績評価	減収減益	減収減益	

* 中国合併会社持分法ベース

* () 内は対前年同期増減率

(注1) 本邦以外の地域に属する主な国又は地域は以下の通りである

(1) 北米…米国、カナダ、メキシコ

(2) 欧州…フランス、イギリス、スペイン、その他欧州諸国

(3) アジア…中国、タイ、インド、その他アジア諸国

(4) その他地域…大洋州、中近東、南アフリカ、メキシコを除く中南米

(注2) 設備投資と減価償却費は、ファイナンスリース関連の金額を含む

<2026年3月期 決算 参考資料> (連結②)

グローバル販売台数及び生産台数

2026年5月13日
日産自動車株式会社

		当通期実績 26年3月期	前通期実績 25年3月期	来期予想 27年3月期
グローバル販売台数(小売)				
日本 (軽を含む)		399千台 (▲13.5%)	461千台 (▲4.8%)	430千台
北米		1,291千台 (▲0.9%)	1,303千台 (+3.3%)	1,320千台
	(内 米国)	906千台 (▲3.4%)	938千台 (+2.5%)	
欧州		317千台 (▲9.7%)	351千台 (▲2.9%)	340千台
アジア	(注1)	775千台 (注1) (▲7.9%)	841千台 (▲12.5%)	
	(内 中国)	653千台 (▲6.3%)	697千台 (▲12.2%)	710千台
その他		369千台 (▲8.1%)	390千台 (+4.4%)	(注2) 500千台
計		3,151千台 (▲5.8%)	3,346千台 (▲2.8%)	3,300千台
グローバル生産台数				
日本		558千台 (▲13.1%)	641千台 (▲11.5%)	
北米	(注3)	1,117千台 (注3) (▲5.3%)	1,178千台 (▲4.5%)	
欧州	(注4)	279千台 (注4) (+1.0%)	276千台 (▲15.1%)	
アジア	(注5)	824千台 (注5) (▲7.8%)	895千台 (▲12.3%)	
その他	(注6)	125千台 (注6) (+13.2%)	110千台 (▲12.1%)	
計		2,903千台 (▲6.4%)	3,101千台 (▲9.6%)	2,950千台

* ()内は対前年同期増減率

*グローバル販売台数及びグローバル生産台数の中国・台湾については、1-12月ベースの数字

(注1) 大洋州を含む

(注2) アジア(除、中国)を含む

(注3) 米国、メキシコの生産台数

(注4) 英国の生産台数

(注5) 台湾、タイ、中国、インドの生産台数

(注6) 南アフリカ、ブラジル、エジプト、アルゼンチンの生産台数

		当通期実績 26年3月期	前通期実績 25年3月期
連結売上台数			
日本		385千台 (▲12.2%)	439千台 (▲7.4%)
海外		2,049千台 (▲7.6%)	2,218千台 (▲4.1%)
計		2,435千台 (▲8.4%)	2,657千台 (▲4.6%)
連結生産台数			
日本		558千台 (▲13.1%)	641千台 (▲11.5%)
在外連結子会社		1,598千台 (▲9.6%)	1,767千台 (▲6.1%)
計		2,156千台 (▲10.5%)	2,409千台 (▲7.6%)

* 連結売上台数、連結生産台数は連結財務諸表のベースとなるものである

RE:NISSAN

2025年度 決算報告

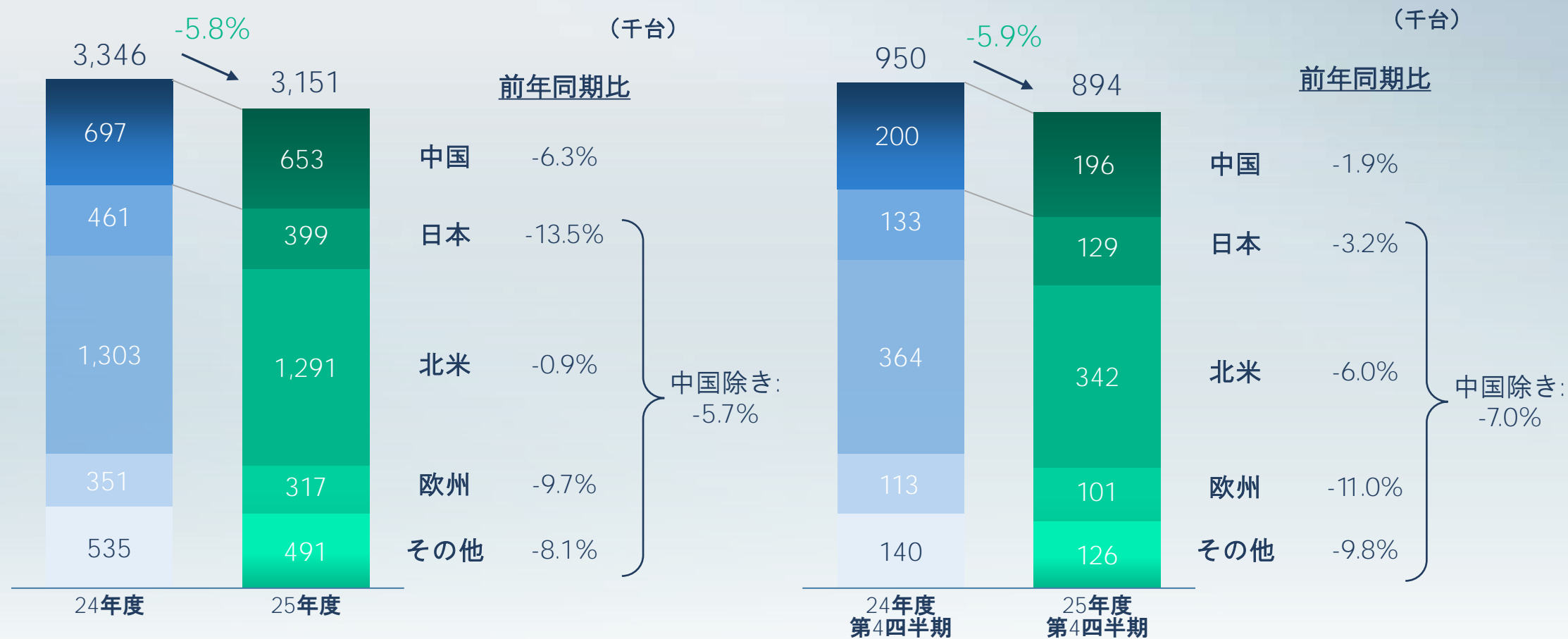
2026年5月13日



■ 2025年度実績

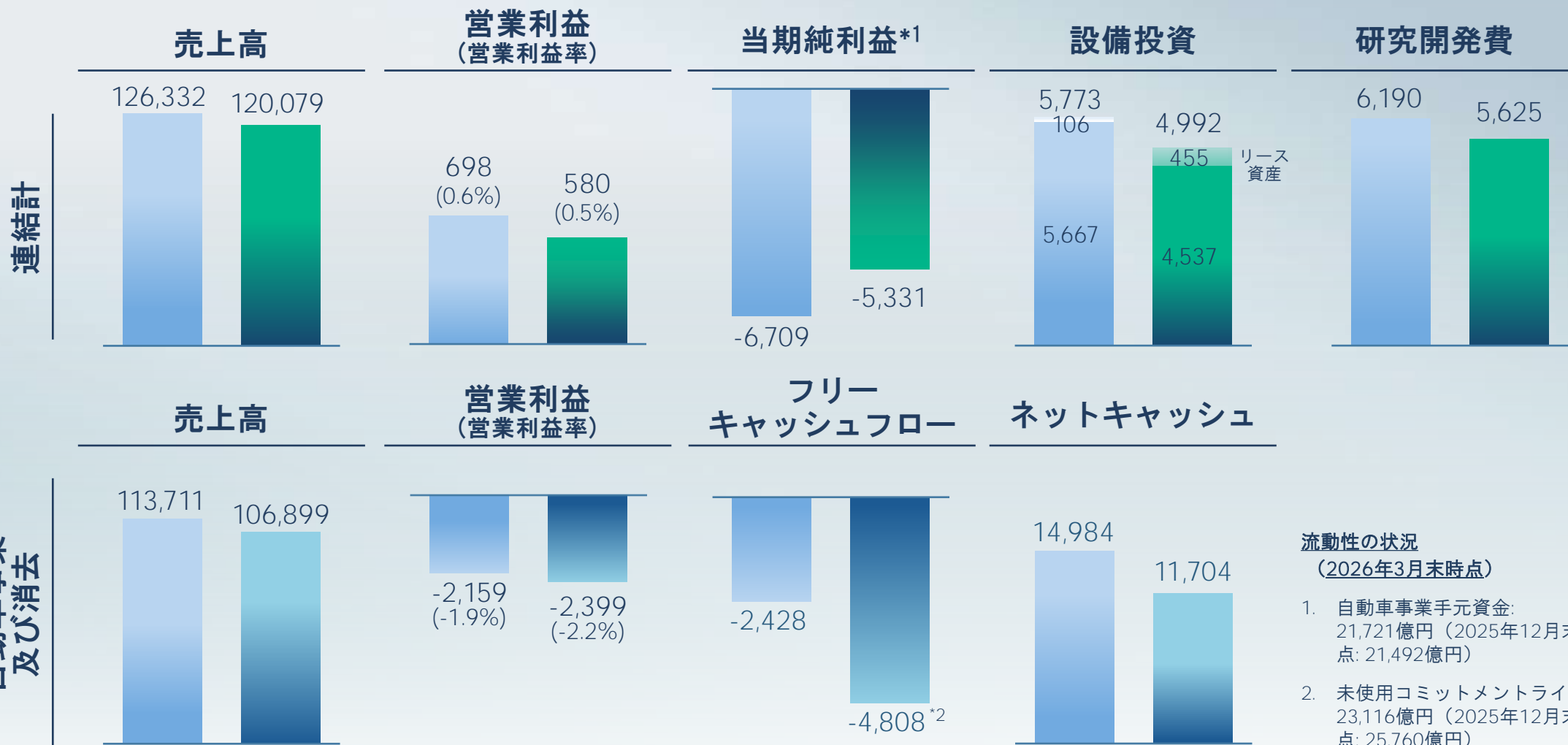


小売販売台数



25年度 財務実績

■ 24年度 ■ 25年度 (億円)



流動性の状況 (2026年3月末時点)

- 自動車事業手元資金:
21,721億円 (2025年12月末時点: 21,492億円)
- 未使用コミットメントライン:
23,116億円 (2025年12月末時点: 25,760億円)

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 25年度下期は+1,120億円

営業利益増減分析

(億円)

25年度 対前年



24年度 為替 原材料 関税 販売パフォーマンス モノづくりコスト インフレーション 一過性 その他 25年度

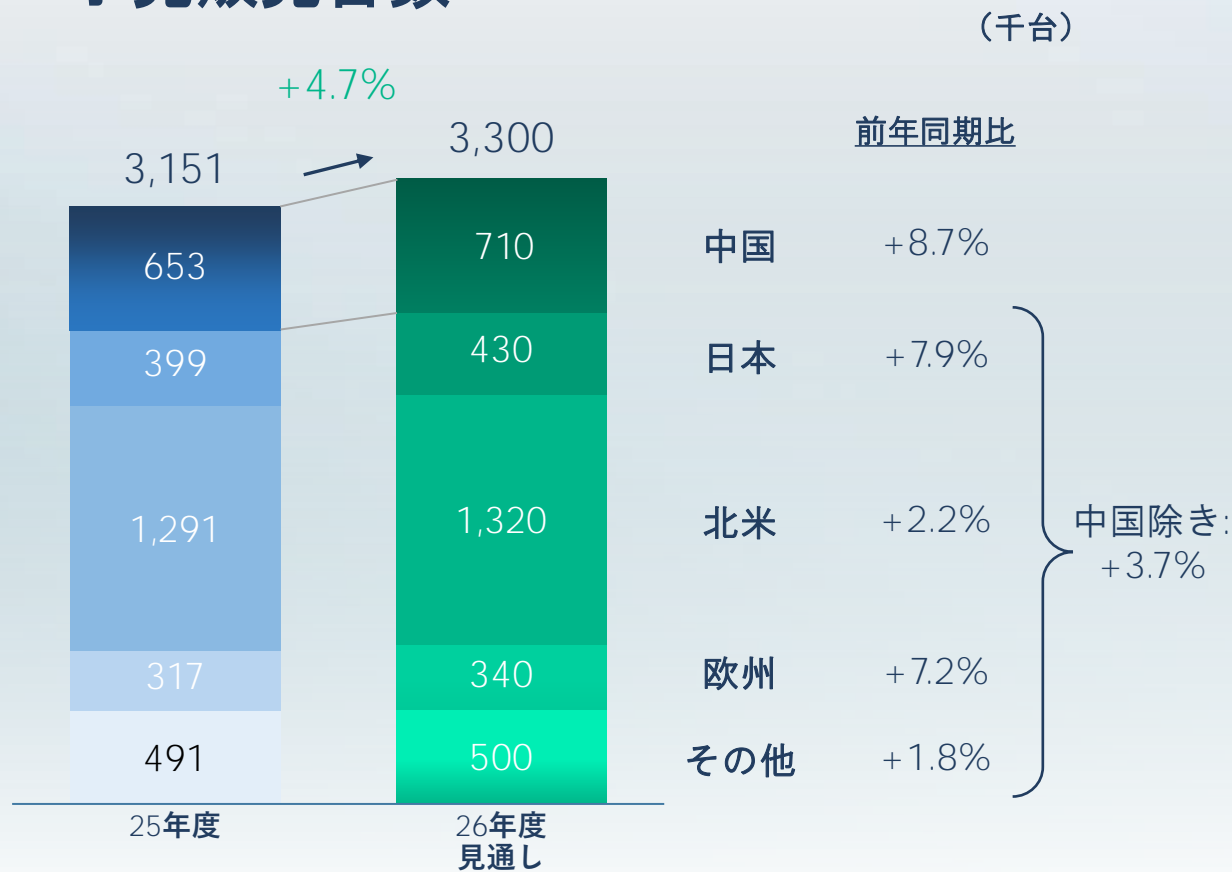
台数/構成	+753	生産費用	+298	モノづくり	-774	製品保証引当金見積りの変更	+289	販売金融	+160
販売費用/価格改定	-558	物流費	+206	その他	-175	米国環境規制	+1,030	-クレジットロス	+85
アフターセールス	-367	規制対応/商品性向上	+37			英国環境規制	+164	-その他	+75
その他	-178	研究開発費	+643					リマーケティング	+225
		購買	+947					一般管理費	+450
		その他	+139					その他	-279

■ 2026年度見通し

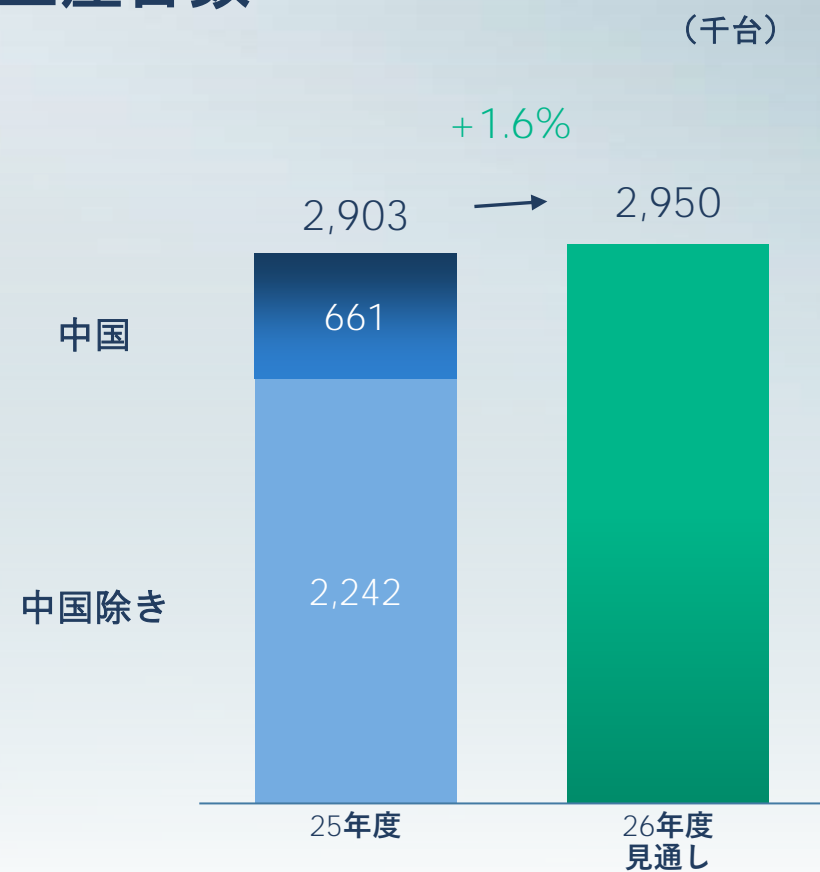


2026年度台数見通し

小売販売台数



生産台数*



* パートナーによる生産委託車両を含まない

■ 2026年度見通し

(億円)

	25年度 実績	26年度 見通し	対前年
売上高	120,079	130,000	+9,921
営業利益	580	2,000	+1,420
営業利益率	0.5%	1.5%	+1.0ポイント
当期純利益 ^{*1}	-5,331	200	+5,531
為替レート ^{*2} (ドル/円)	151	150	-1
(ユーロ/円)	175	175	-
一株当たり配当金(円)	0	0	

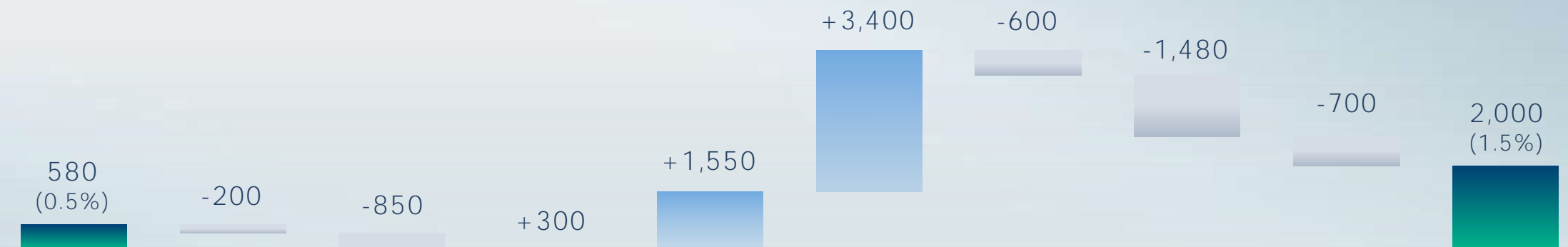
*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 為替レートは通期平均値

■ 営業利益増減分析

26年度見通し 対前年

(億円)



25年度実績

為替

原材料

関税

販売パフォーマンス

モノづくりコスト

インフレーション

一過性

その他

26年度見通し

台数/構成	+950	生産費用	+950	モノづくり	-450	製品保証引当金見積りの変更	-290	販売金融	-200
販売費用/価格改定	+600	物流費/その他	+100	その他	-150	米国環境規制	-1,030	リマーケティング*	+200
		規制対応/商品性向上	+50			英国環境規制	-160	一般管理費	+300
		研究開発費	+150					その他	-1,000
		購買	+2,150						

実績サマリー



販売実績

- 厳しい市場環境により25年度全体の販売は弱含み
- 米国は、米国生産モデルによる小売販売が堅調
- メキシコは、引き続き堅調な需要とコアモデルの投入が販売を強くけん引
- 日本と欧州では、弱い需要とモデルサイクル変更のタイミングの影響により販売は落ち込み
- 中国は、新エネルギー車（NEV）のN7とN6の投入により、2025暦年で堅調に推移

財務実績

- 第4四半期におけるコスト削減の推進により、通期で2,000億円超の固定費削減及び550億円の変動費削減を実現
- 運転資本の回収が進み、また規律ある運転資金の管理により下期の自動車事業フリーキャッシュフローは黒字化達成
- 25年度の自動車事業営業利益（関税影響を除く）は、計画を前倒しして黒字化を達成
- 期末自動車事業ネットキャッシュは1.17兆円を維持

見通し

- 新型モデルの投入が小売販売を押し上げ、グローバル販売台数は330万台に拡大する見込み
- 26年度:
 - 連結営業利益黒字
 - インフレーションや原材料価格の上昇影響が見込まれるものの、自動車事業に係るフリーキャッシュフローと営業利益は関税影響除きで黒字となる見通し
- 期末自動車事業ネットキャッシュは1兆円を上回る見通し
- Re: Nissanの最終年度の取り組みは着実に進捗予定

■ Re:Nissanの進捗



RE:NISSAN



コスト削減



市場・商品戦略の
再定義



パートナーシップの
強化

コスト削減 - 固定費

規律ある実行を通じて、コスト削減は計画を上回るペースで進捗



事業リスクに対応するため、継続的なコスト削減を推進

コスト削減 - 固定費

生産の再編

Q1 | 2025年3月

1. アルゼンチン工場
2. インド工場

Q2 | 2025年7月

3. 追浜工場
4. 日産車体湘南工場
5. シバック工場

Q3 | 2025年10月

6. COMPAS(コンパス)工場
メキシコ

Q4 | 2026年1月

7. ロスリン工場 南アフリカ
(条件および規制当局の承認を前提として合意済み)

10か月で全7拠点を発表、26年度内に6拠点を統廃合

コスト削減 - 固定費

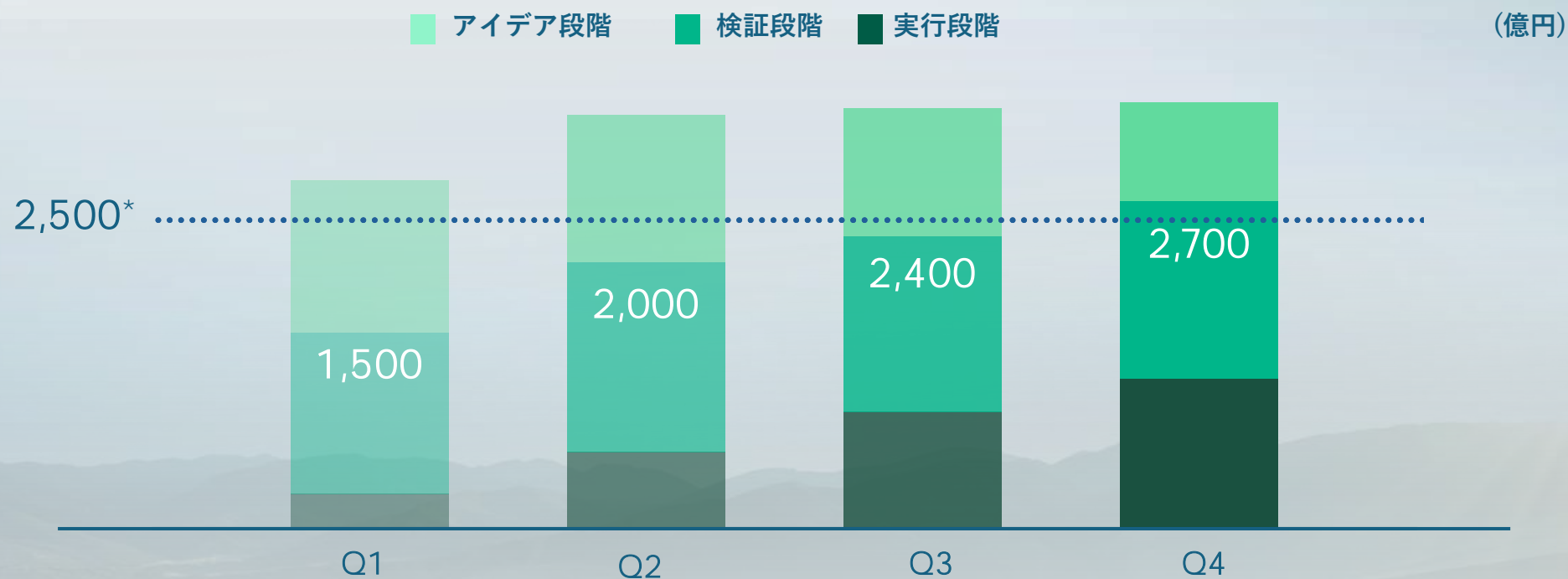
エンジニアリングコスト(時間当たり労務費)



10か月で18%削減を達成

コスト削減 - 変動費

550億円のコスト削減を実現



*想定影響額

コスト削減の進捗

	アクション	2025年度の実績	2026年度のアクション
生産の再編 (27年度まで)	生産拠点を17から10に統廃合し、生産能力を350万台から250万台に削減（中国除き）	10か月で7つの生産拠点について発表	6拠点の発表済み施策の実行を推進
	生産効率の向上	主要拠点のライン統合やシフト最適化を通じ、生産体制を効率化	生産ライン・シフトの最適化を継続
開発の刷新 (24年度比)	エンジニアリングコスト（時間当たり労務費）20%削減	エンジニアリングコスト（時間当たり労務費）18%削減	エンジニアリングコスト（時間当たり労務費）20%削減
	開発期間を30か月へ	25年に投入した新型車の多くで、開発スケジュール短縮のための施策のいくつかを導入	全ての新規プロジェクトで短縮した開発期間を採用し、日産ファミリー戦略も導入
経費の削減	規律ある費用管理による支出の削減	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング効率は前年比14%改善 各機能、地域における費用の厳格な管理と優先付け 	外部委託の活用、マーケティング費用の効率化、シェアードサービスの活用促進、ならびに費用の厳格な管理を通じた改善を継続
	20,000人削減による人員規模の適正化（27年度まで）	自主退職プログラムの導入（米国、英国、日本）	

RE:NISSAN



コスト削減



市場・商品戦略の
再定義



パートナーシップの
強化

25年度の商品投入

RE:NISSAN

Q1



中国 | N7
2025年4月

Q2



欧州 | マイクラ EV
2025年7月



欧州 | キャッシュカイ e-POWER
2025年8月



米国 & 日本 | リーフ
2025年9月 & 2026年1月

Q3



日本 | ルークス
2025年10月



中国 | ティアナ ファーウェイ
2025年11月



中国 | フロンティア プロ ICE & PHEV
2025年12月



米国 | セントラ
2025年11月



中国 | N6 PHEV
2025年12月

Q4



インド | グラバイト
2026年2月



米国 | ローグ PHEV
2026年2月



オーストラリア | ナバラ
2026年3月

25年度 市場実績

米国

ビジネスの質向上

- 主要ブランド中で8か月連続トップの成長率
- 小売販売：14か月連続で前年越え
- 「米国生産、米国販売」戦略により収益を向上
- 販売チャネルの改善により小売販売6.2%増（39,000台）

日本

ブランドへの信頼を向上

- 商品競争力の向上
ルークス：受注55,000台
リーフ：受注8,000台
- 販売店への来店数が2024年度を上回る水準に回復

中国

着実な進捗

- 小売販売の回復：
25年度下期 +4.5%
- 多様なパワートレインを搭載したNEV攻勢
N7：48,000台販売*
N6：5% セグメントシェア獲得

重点市場

強固な市場プレゼンス

- メキシコ
18年連続で市場シェアNo.1
- GCC諸国
2025年度の市場シェアは10.7%

事業運営の質向上

徹底した在庫管理 - 収益性の高い販売チャネル - 精度の高いマーケティング

* 2026年3月発売後の総販売台数

26年度の商品計画

NX8
中国



テクトン
インド



インフィニティ QX65
米国



エルグランド
日本



ローグ e-POWER
米国



キックス
日本



*画像は米国モデル

N7 & フロンティア プロ
中国からの輸出



ムラーノ
日本への輸出



26年度に
発売予定の
モデル

2026年4月から1年以内に発表予定の市販モデル

テラノ PHEV
コンセプト
中国



アーバンSUV PHEV
コンセプト
中国



RE:NISSAN



コスト削減



市場・商品戦略の
再定義



パートナーシップの
強化

■ パートナーシップの強化



2025年 8月

- 自動運転モビリティサービスパイロットプログラム (横浜と神戸)
- LICAP 全固体電池パートナーシップ (米国)



2025年 10月

- ファーウェイ「HarmonySpace5.0」スマートコックピットを採用 (中国)



2025年 12月

- 「Wayve AI Driver」を次世代プロパイロットに採用



2026年 3月

- WayveおよびUberとのロボタクシーでの協業 (東京)

PARTNERSHIP

HOW WE SCALE

INTELLIGENCE
SETTING THE DIRECTION



PORTFOLIO

WHAT WE DELIVER

INDUSTRIAL

HOW WE EXECUTE

MARKET

WHERE WE COMPETE



MOBILITY INTELLIGENCE
FOR EVERYDAY LIFE

モビリティの知能化で、毎日を新たな体験に

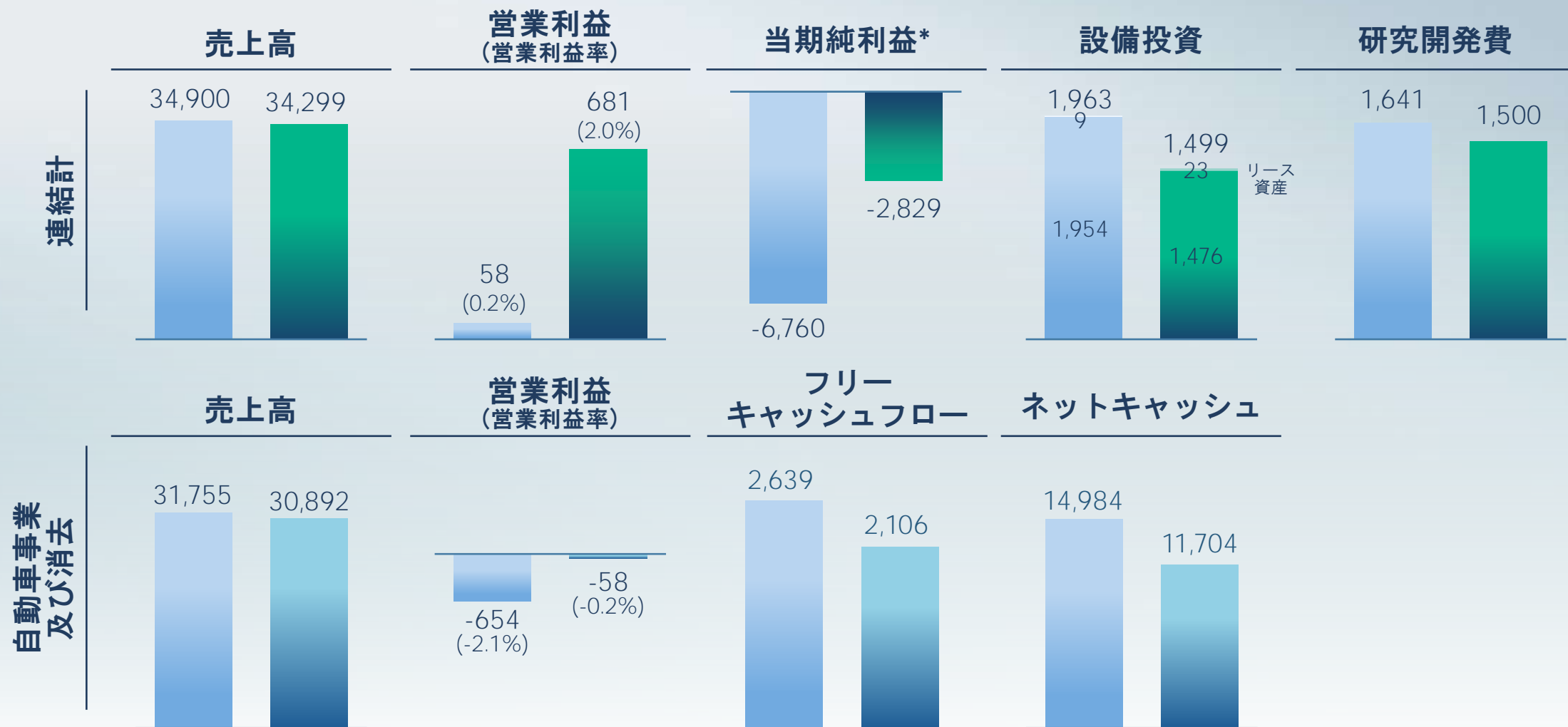
RE:NISSAN



： 參考資料

25年度第4四半期 財務実績

■ 24年度 第4四半期 ■ 25年度 第4四半期 (億円)



* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 営業利益増減分析

25年度第4四半期実績 対前年

(億円)



24年度
第4四半期

為替

原材料

関税

販売
パフォーマンス

モノづくり
コスト

インフレーション

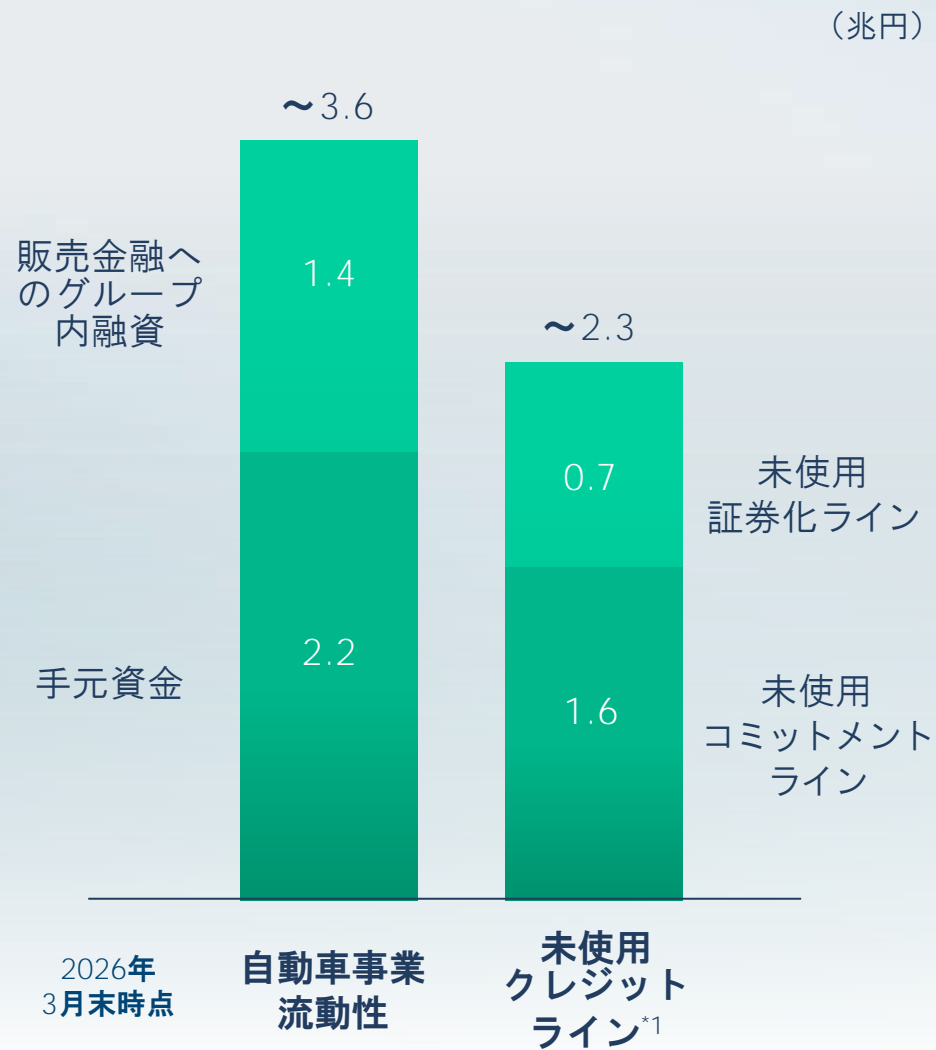
一過性

その他

25年度
第4四半期

台数/構成	+264	生産費用	+33	モノづくり	-285	英国 環境規制	+670	販売金融 -クレジットロス -その他	-9 -6 -3
販売費用/ 価格改定	-381	物流費	+86	その他	-35				
アフターセールス	-82	規制対応/ 商品性向上	+43					リマーケティング	-33
その他	-33	研究開発費	+196					一般管理費	+68
		購買	+569					その他	-309
		その他	+239						

資金調達および流動性の状況



通貨	償還期間	総額
米ドル	5年	10億ドル
	7年	7.5億ドル
	10年	12.5億ドル
ユーロ	4年	8億ユーロ
	8年	5億ユーロ

通貨	償還期間
円	6年 ^{*2}
総額	転換価格
2,000億	397.2円

*1 未使用証券化ラインは販売金融関連、未使用コミットメントラインの内訳は、自動車事業で7,000億円、販売金融で1兆円

*2 4年後から行使可能なプットオプションを含む

*3 前年に対して約-5,000億円の為替影響

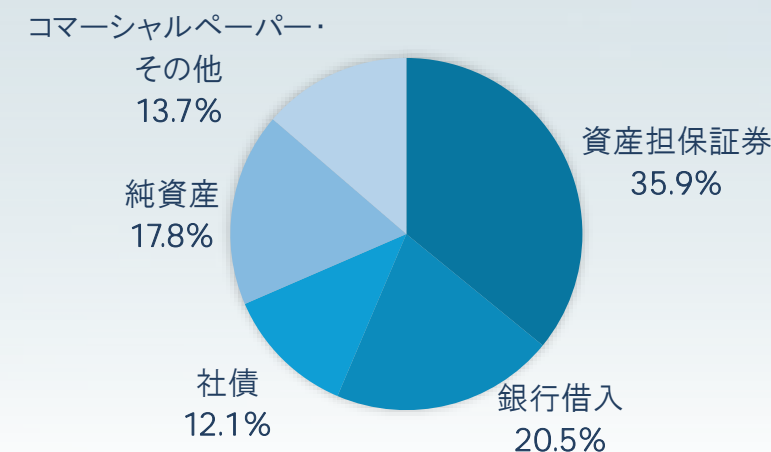
販売金融

■ 24年度 ■ 25年度（億円）



資金調達方法（2026年3月末現在）

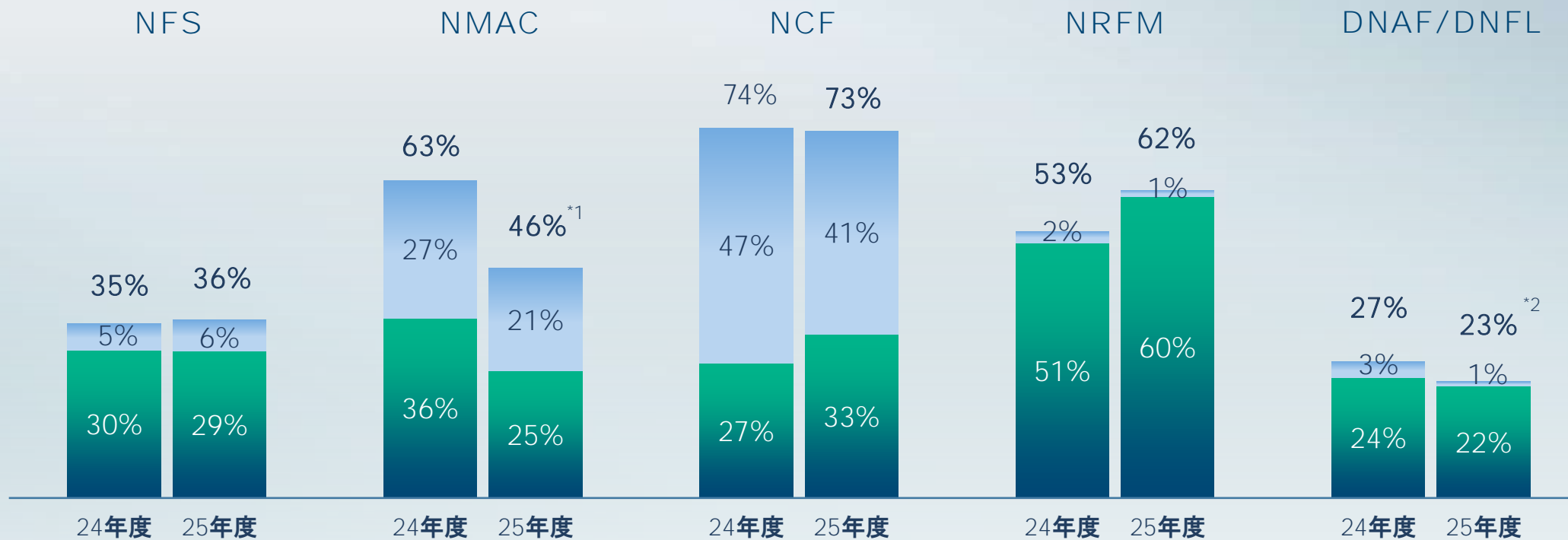
総資金調達金額：10兆130億円



- 営業利益は、為替の影響を受けながらも、一過性の損失引当金の戻しにより、前年対比で増益。
- 市場競争の激化および主に米国におけるマーケティング費用の構成変更により、ペネトレーションは低下。
- クレジットロスの上昇は業界平均並み。
- 多様な資金調達方法と強固な流動性及び自己資本を維持。

ペネトレーション

■ リース ■ リテール



NFS: 日産フィナンシャルサービス (日本)
 NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC (米国)
 NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門 (カナダ)

NRFM: NR Finance Mexico (メキシコ)
 DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance (中国)
 DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing (中国)

*1 NMAC: ペネトレーションの低下は、市場競争の激化とマーケティング費用の構成変化によるもの
 *2 DNAF: ペネトレーションの低下は、市場競争激化の影響によるもの

■ ネット・クレジットロスレシオ

	NFS			NMAC			NCF			DNAF/DNFL		
	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計
24年度	0.02%	0.06%	0.06%	0.43%	0.91%	0.74%	0.04%	0.14%	0.09%	1.20%	0.80%	0.89%
25年度	0.01%	0.06%	0.06%	0.52%	1.02%	0.83%	0.07%	0.18%	0.12%	2.87%	1.01%	1.41%
増減	-0.01pt	0.00pt	0.00pt	+0.09pt	+0.11pt	+0.09pt	+0.03pt	+0.04pt	+0.03pt	+1.67pt*	+0.21pt	+0.52pt

NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）

NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing（中国）

DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance（中国）

* DNAF/DNFLのリース・クレジットロスの上昇は、一社のフリートによるもの

■ 営業利益・資産

	NFS (億円)		NMAC (百万ドル)		NCF (百万カナダドル)		NRFM (百万メキシコペソ)		DNAF/DNFL (百万人民元)	
	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益
24年度	15,369	329	39,774	890	7,741	217	126,670	4,892	35,112	1,210
25年度	15,534	296	38,012	969	6,920	229	143,820	5,412	33,579	815
増減	165	-33	-1,762	+79	-821	+12	+17,150	+520	-1,533	-395 [*]

NFS: 日産フィナンシャルサービス (日本)

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC (米国)

NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門 (カナダ)

NRFM: NR Finance Mexico (メキシコ)

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing (中国)

DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance (中国)

* DNAF/DNFL 営業利益の減少は、主に小売売上の減少とペネトレーションの低下に伴う資産の減少によるもの

財務実績

(億円)

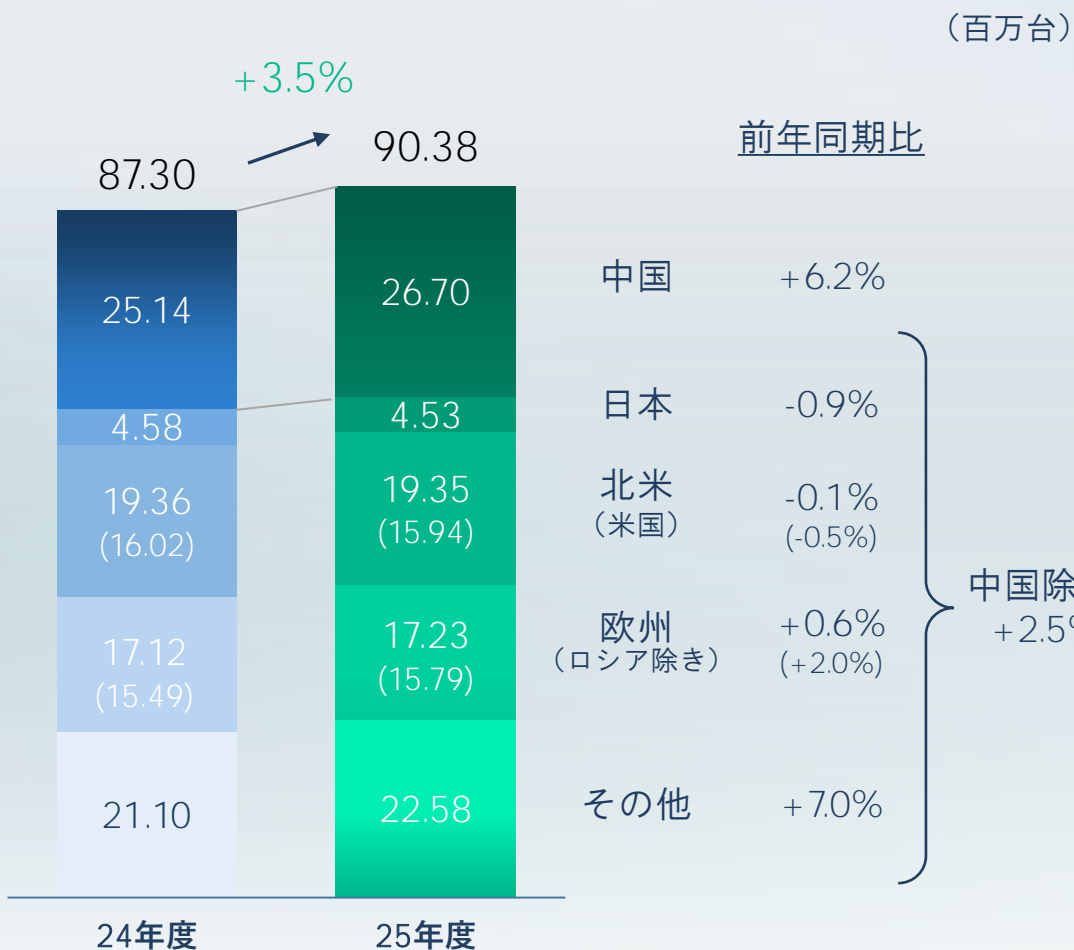
	24年度	25年度	増減	24年度 第4四半期	25年度 第4四半期	増減
売上高	126,332	120,079	-6,253	34,900	34,299	-601
営業利益	698	580	-118	58	681	+623
営業利益率	0.6%	0.5%	-0.1 ポイント	0.2%	2.0%	+1.8 ポイント
営業外損益 ^{*1}	1,404	-569		450	438	
経常利益	2,102	11	-2,091	508	1,119	+612
特別損益 ^{*2}	-6,238	-4,415		-5,580	-3,442	
税金等調整前当期純利益	-4,136	-4,404	-268	-5,072	-2,323	+2,750
税金費用	-2,465	-863		-1,694	-504	
少数株主利益 ^{*3}	-108	-64		5	-2	
当期純利益 ^{*4}	-6,709	-5,331	+1,378	-6,760	-2,829	+3,932
為替レート (ドル/円)	153	151	-2	153	157	+4
(ユーロ/円)	164	175	+11	161	184	+23

*1 持分法による投資損益 913億円 (24年度)、-26億円 (25年度) を含む *2 25年度 減損損失：3,662億円

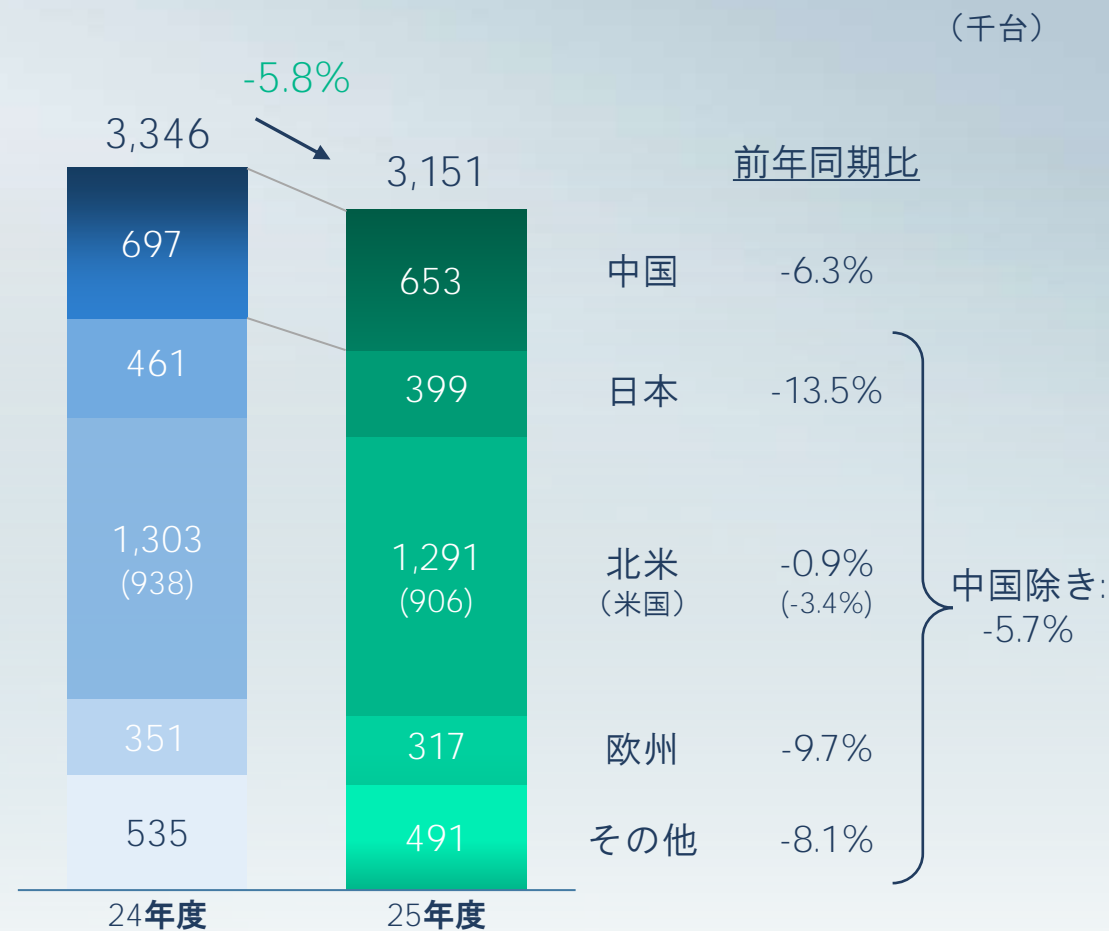
*3 非支配株主に帰属する当期純利益 *4 親会社株主に帰属する当期純利益

25年度 販売実績

全需*



小売販売台数

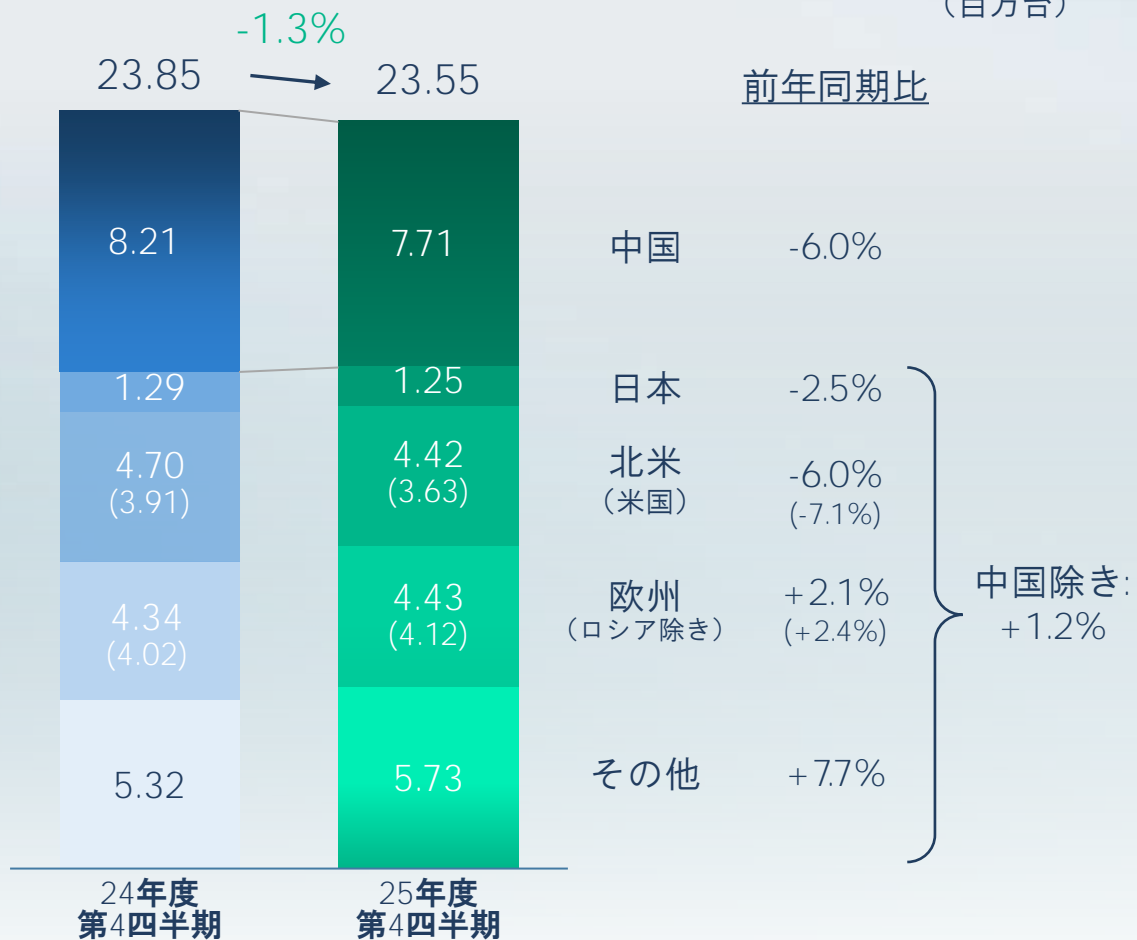


* 全需は日産集計値、中国は現地ブランドとLCVを含む

25年度 第4四半期 販売実績

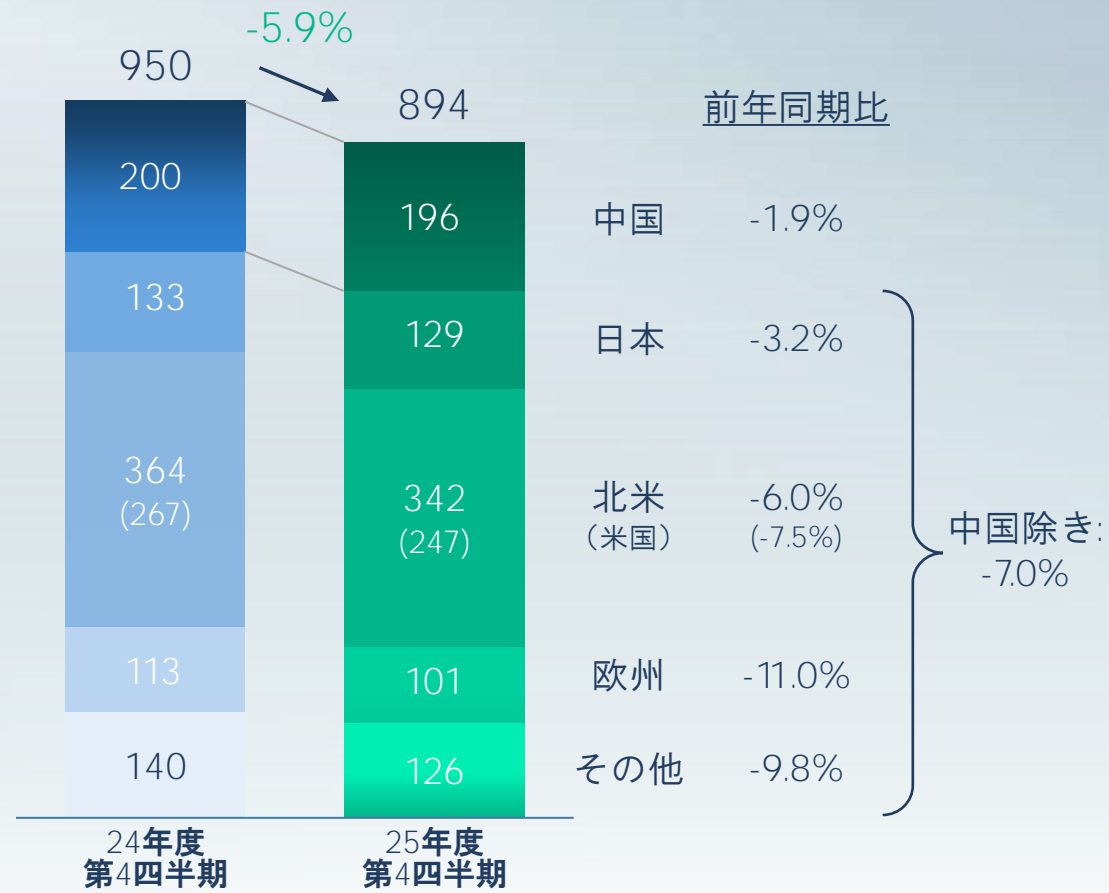
全需*

(百万台)



小売販売台数

(千台)

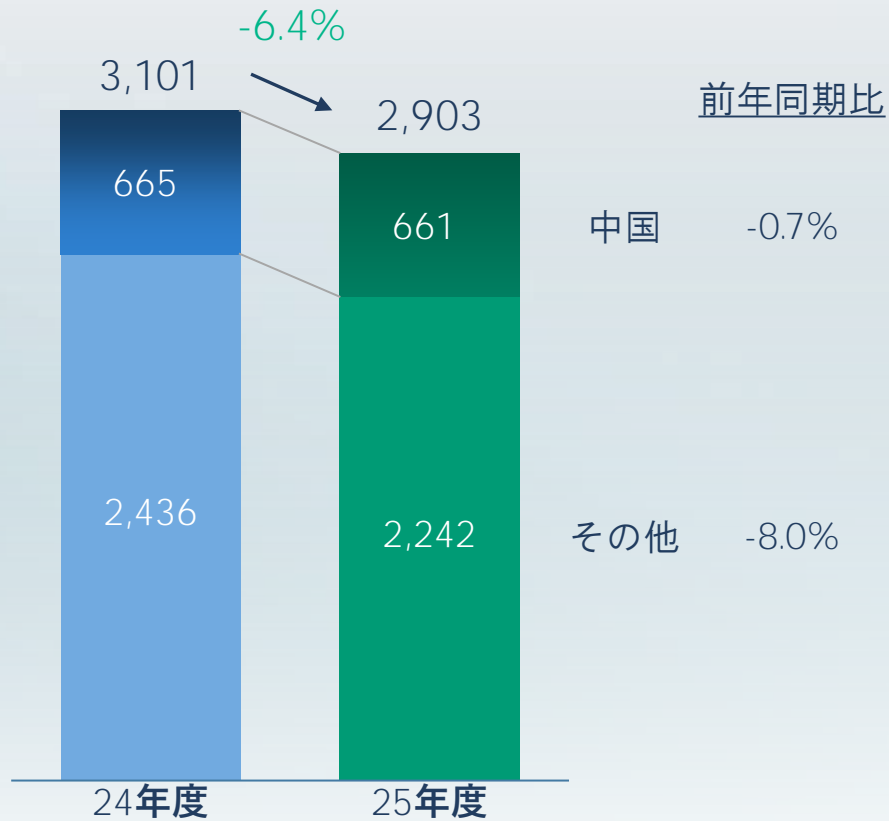


* 全需は日産集計値、中国は現地ブランドとLCVを含む

生産台数*

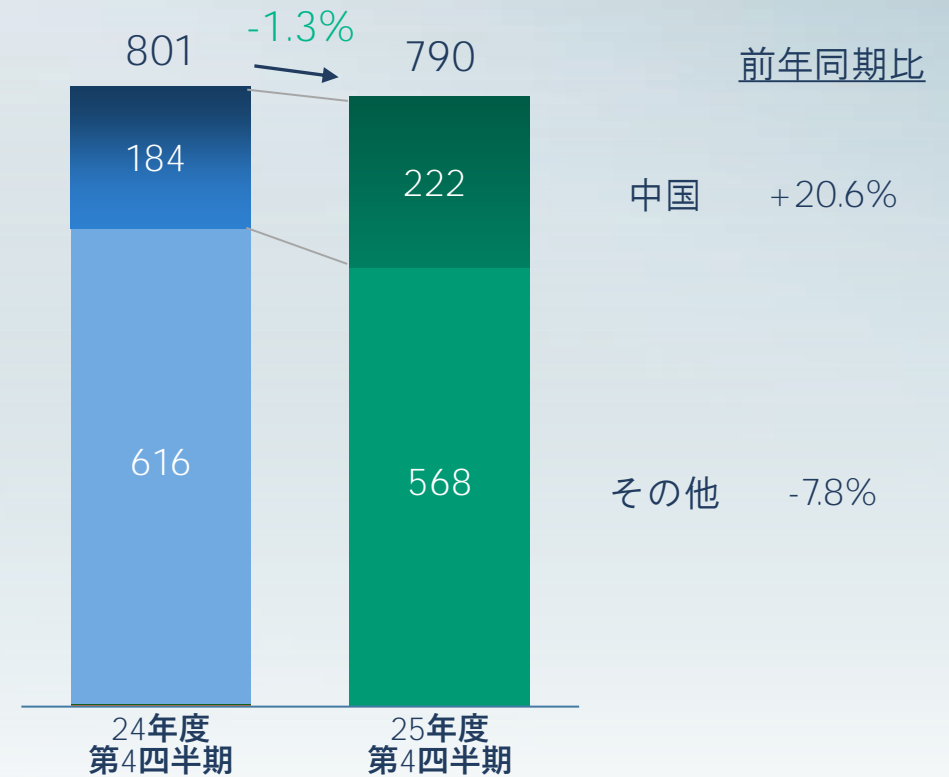
25年度

(千台)



第4四半期

(千台)



* パートナーによる生産委託車両を含まない

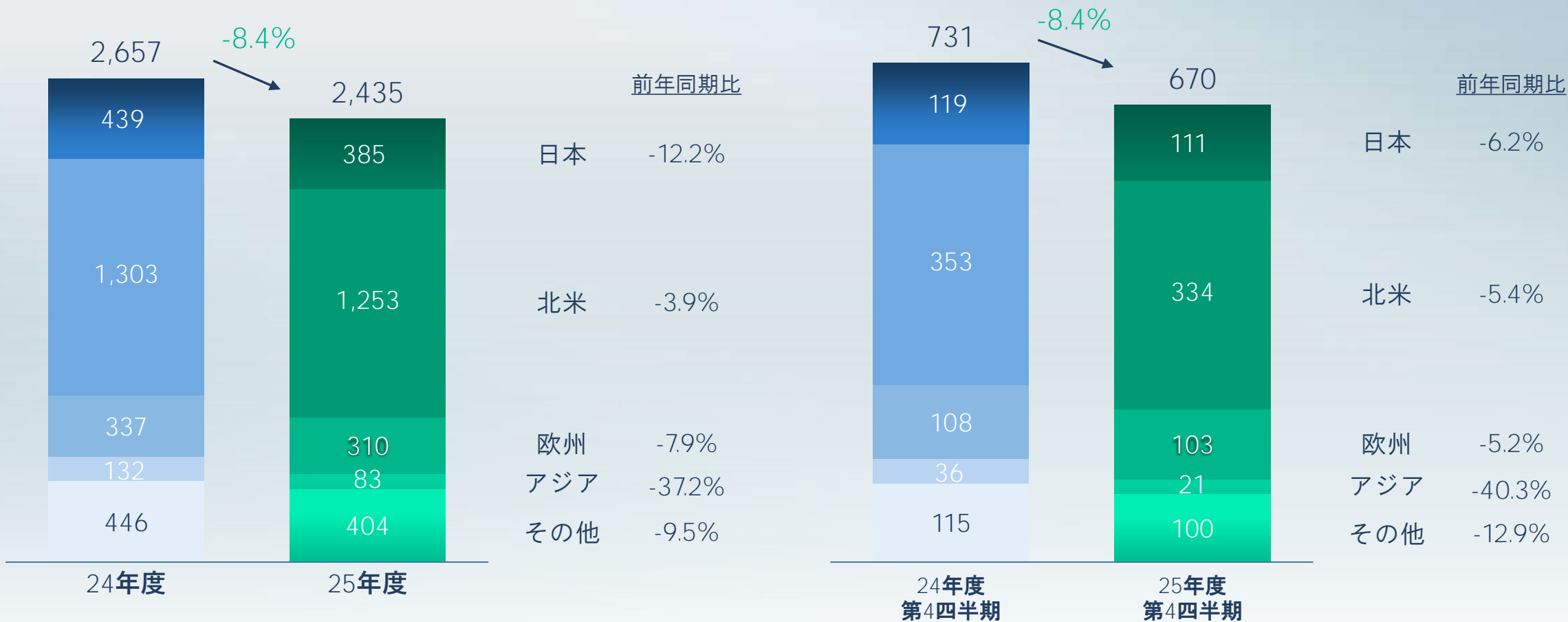
連結売上台数

25年度

(千台)

第4四半期

(千台)



■ 営業利益増減分析 為替

為替	24年度 レート	25年度 レート	営業利益影響 (億円)	為替	24年度 第4四半期 レート	25年度 第4四半期 レート	営業利益影響 (億円)
米ドル	152.6	150.7	-13	米ドル	152.6	157.0	179
インドルピー	1.8	1.7	59	カナダドル	106.3	114.4	77
英ポンド	194.7	202.0	56	英ポンド	192.2	211.6	32
メキシコペソ	8.0	8.2	-11	インドルピー	1.8	1.7	6
カナダドル	109.8	109.0	-21	アルゼンチンペソ	0.1	0.1	-28
中国人民元	21.0	21.2	-48	トルコリラ	4.2	3.6	-38
ユーロ	163.9	174.6	-68	タイバーツ	4.5	5.0	-52
アルゼンチンペソ	0.2	0.1	-104	ユーロ	160.6	183.7	-54
タイバーツ	4.4	4.7	-120	メキシコペソ	7.5	8.9	-81
トルコリラ	4.5	3.7	-227	中国人民元	21.2	22.7	-84
その他	--	--	280	その他	--	--	348
合計	--	--	-217	合計	--	--	305

■ 営業利益増減分析 販売パフォーマンス

(億円)

25年度

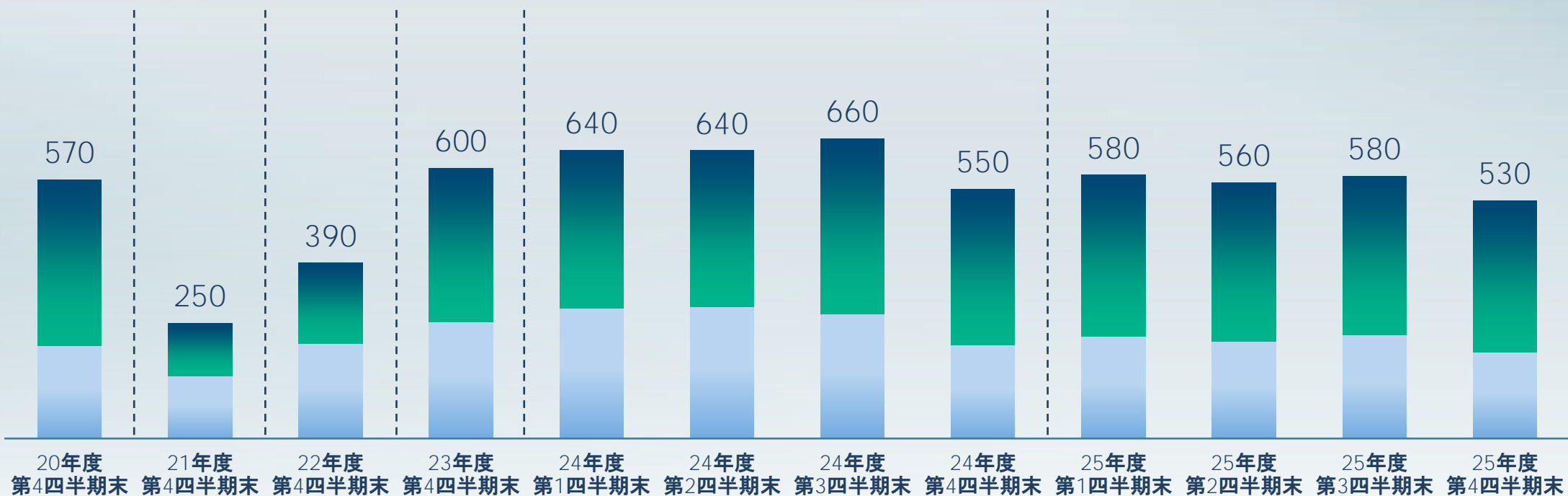
25年度 第4四半期

	25年度				25年度 第4四半期				
	台数 ^{*1}	構成	販売奨励金 ^{*2}	合計	台数 ^{*1}	構成	販売奨励金 ^{*2}	合計	
台数・構成	日本	-92	-4	+47	-49	-14	+44	+9	+38
	米国	-945	+570	+899	+523	-183	+154	+333	+304
	欧州	-339	+57	+343	+61	-79	-22	+118	+17
	メキシコ・カナダ	-62	-89	+89	-63	-87	-14	+114	+14
	その他	-460	+610	+131	+281	-135	-18	+44	-109
	合計	-1,898	+1,143	+1,508	+753	-498	+144	+618	+264
販売価格改定・販売費		販売奨励金 ^{*3} / 価格改定	その他	合計		販売奨励金 ^{*3} / 価格改定	その他	合計	
	日本	+50	+11	+61	+8	-24	-16		
	米国	-879	+353	-526	-158	+37	-121		
	欧州	-295	+84	-210	-133	+2	-131		
	メキシコ・カナダ	-347	+70	-277	-158	+10	-148		
	その他	+296	+98	+394	+30	+6	+36		
合計	-1,174	+616	-558	-412	+31	-381			

*1 カントリーミックスを含む *2 台数・構成による販売奨励金の増減 *3 台当たりの販売奨励金増減の影響

■ 在庫状況（中国合弁会社除く）

■ 販売会社在庫（一部のマイナーな国を除く） ■ 日産連結在庫（一部のマイナーな国を除く） (千台)



自動車事業フリーキャッシュフロー

(億円)

25年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
PL項目による現金収支	-1,321	-519	+102	+23	-1,716
運転資本	-1,257	-322	+715	+2,519	+1,655
買掛金・売掛金	-1,541	-230	+793	+626	-352
在庫	+284	-92	-78	+1,893	+2,007
税金・その他営業活動	-685	-354	-1,773	+600	-2,212
営業活動によるキャッシュフロー	-3,263	-1,196	-956	+3,142	-2,273
設備投資*	-1,386	-1,250	-1,057	-1,135	-4,828
その他	+744	+423	+1,027	+99	+2,293
自動車事業フリーキャッシュフロー	-3,905	-2,023	-986	+2,106	-4,808
24年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
自動車事業フリーキャッシュフロー	-3,028	-1,456	-584	+2,639	-2,428

* ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

■ 事業セグメント別 ネットキャッシュ

(億円)

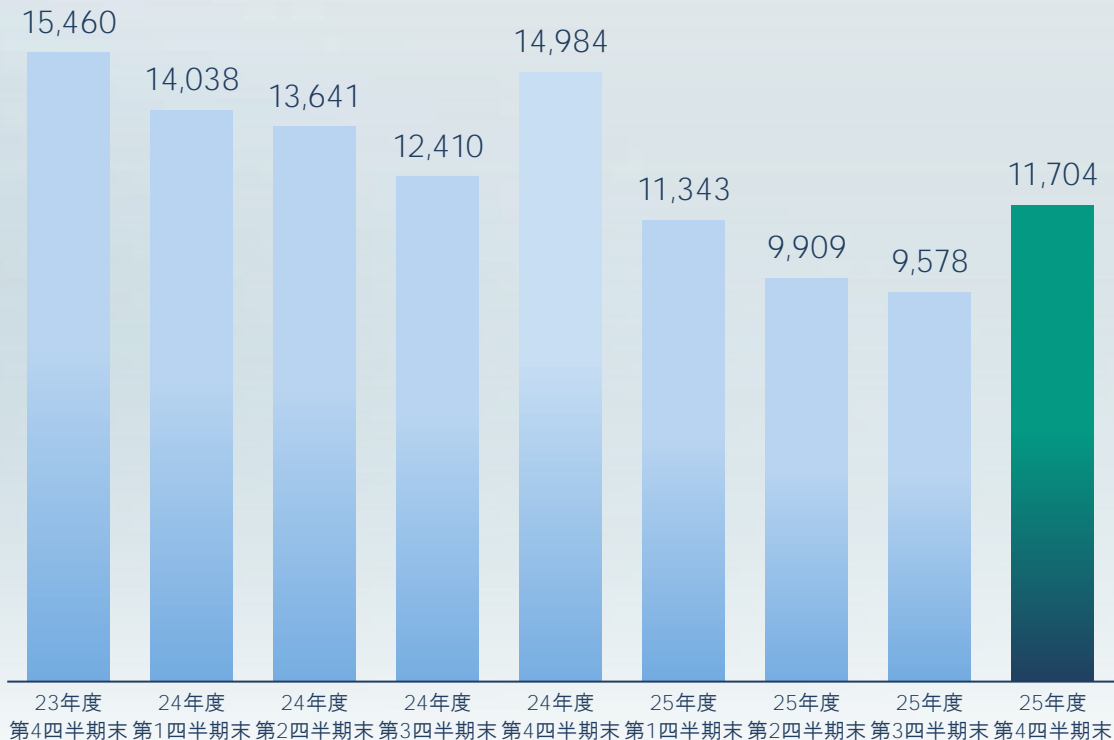
2025年3月31日時点

2026年3月31日時点

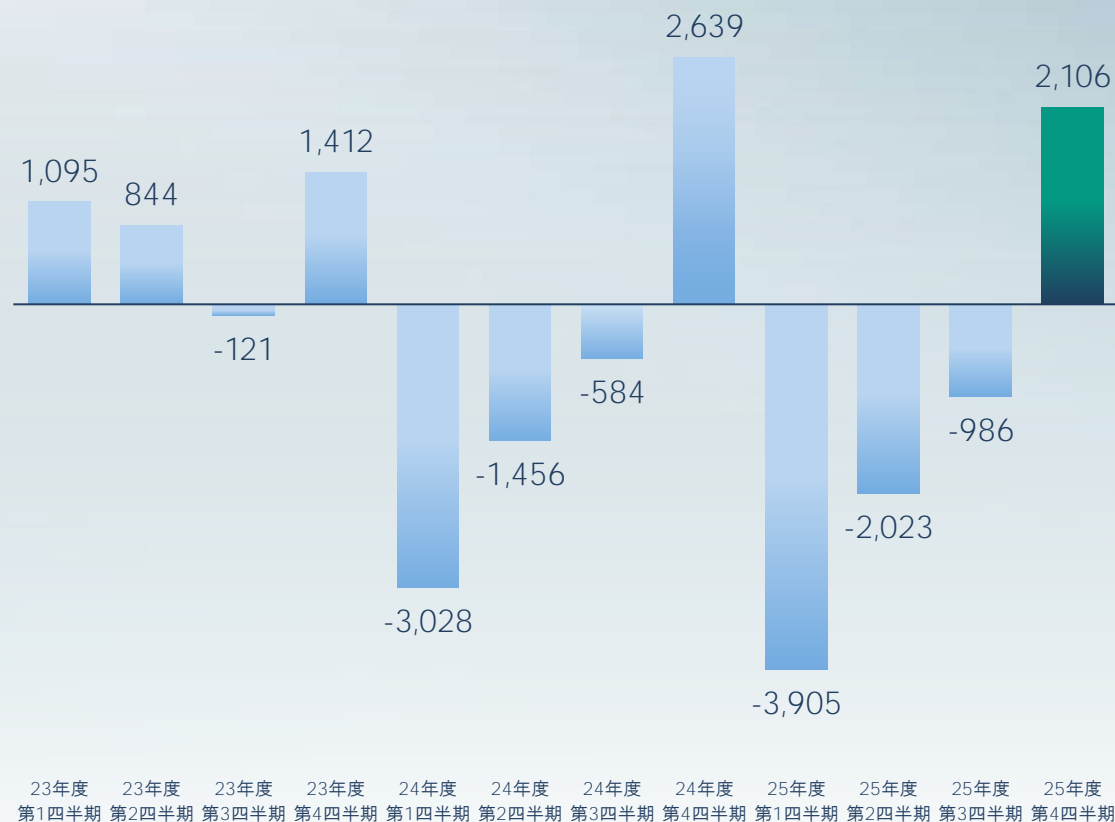
	2025年3月31日時点			2026年3月31日時点		
	自動車事業 及び消去	販売金融事業	合計	自動車事業 及び消去	販売金融事業	合計
第三者借入	19,476	61,522	80,999	23,767	65,434	89,201
販売金融へのグループ内融資 (ネット)	-12,863	12,863	0	-13,750	13,750	0
手元資金	21,598	377	21,975	21,721	927	22,648
ネットキャッシュ	14,984	-74,008	-59,023	11,704	-78,257	-66,553

自動車事業 ネットキャッシュ及びフリーキャッシュフロー

自動車事業 ネットキャッシュ (億円)

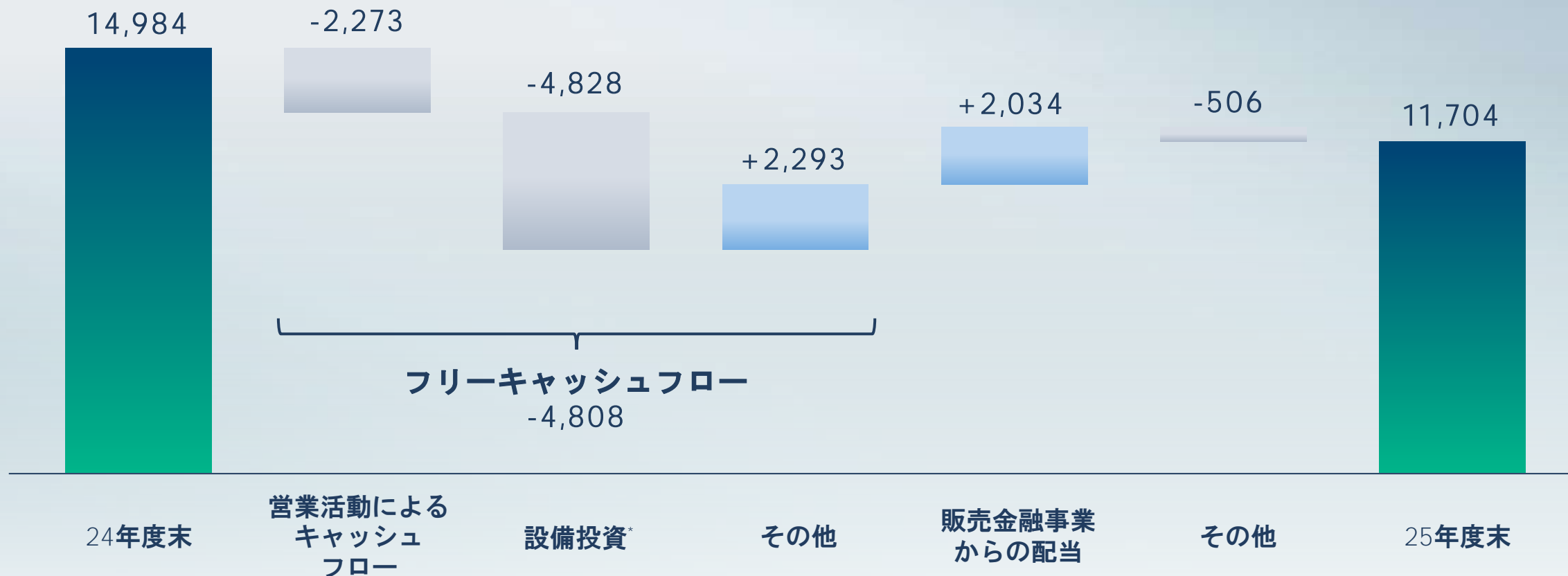


自動車事業フリーキャッシュフロー (億円)



自動車事業 ネットキャッシュ変動分析

(億円)



* 設備投資:ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。